

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立西淀川支援学校
(准)校長名	貴志 英彦

開催日時	令和6年2月21日(水) 10:00～12:00
開催場所	図書室
出席者(委員)	山中会長 田中副会長 大槻委員 西野委員 澄川委員 上久保委員
出席者(学校)	貴志校長 藤原教頭 西田教頭 中尾事務長 曾利首席
傍聴者	なし
協議資料	「令和5年度学校経営計画及び学校評価」 「令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)」 「府区あわせ(福あわせ)プラン」

議題等(次第順)

事務局より	・全校集会见学。次第、資料、傍聴者の確認
議事	・令和5年度学校経営計画及び学校評価について最終報告 ・令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)について ・今年度の地域連携取組みと次年度に向けて ・生徒指導に係る校則について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○全校集会见学	・児童生徒の実態に合わせて工夫したクイズに取り組む姿を見て、来年に向けて強い息吹を感じる。
○令和5年度学校経営計画及び学校評価について最終報告(質問)	・地域へ体育館等の施設開放を行っているか。 ⇒現状は行っていない。 ・今年度防災対策が進んだが、次年度に向けて継続をどう考えているか。 ⇒プロジェクトチームから分掌業務へ役割をスライドし、その統括を首席が担い、防災士にも協力頂きたい。
(意見)	・防災への課題がたくさんある中で、一つづつ課題解決を行ってほしい。 ・能登半島地震の教訓として、医療の必要な人は移送で対応できた。医療、福祉と学校がつながるなど、複数の手立てを持つておくことが大切。 ・防災について、学校がしてくれること、保護者がすることを明確にしてほしい。 ・様々な課題のある家庭への支援を、学校がどこまで踏み込んでいけるか。ソーシャルスクールワーカーの活用はどうか。
○令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)	(意見) ・能登半島現地に実際に支援員として、教員を派遣等できないか。避難所設営・運営等リアルな経験が必要ではないか。 ・ポッチャクラブの活動を、卒業後の余暇活動の充実の場として活用してはどうか。また地域とのつながりにもなるのではないか。 ・ICTの活用が充実してきている。 ・大阪府危機管理室が津波浸水想定の見直しを行っているので、新たなハザードマップが示されれば、それを基に災害対策を見直す必要がある。 ・安心安全な学校作り、若い先生を含めた専門性の向上、インシデント等の共有など大切にしていってほしい
○今年度の地域連携の取組みと次年度に向けて	・災害時の安否確認の返信が100%ではなかったことは問題。連絡を見る啓発を行うべき。

次回の会議日程

日時	令和6年6月頃
会場	図書室